

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	法学		
英文授業科目名	Jurisprudence		
開講年度	2005年度	開講年次	1、2年次
開講学期	1、3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	田中 ひとみ		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(a)主題：複雑化・多様化した現代社会に於いて、法はもはや不可避な存在とされる。これが即ち、「社会あるところ法あり」と云われる所以である。ロビンソン・クルーソーではない我々にとり、様々なルール、規範に従うべきことは可能かつ当然のことである。この法を体系的・理論的に概観して検討してゆきたい。特に憲法は人権の保障や統治機関に関して定める基本法であるので、憲法訴訟などを中心に考察したい。我々にとって「正義とは何か」、「民主主義とは何か」、「平等とは一体何なのか」等々のテーマは永遠であり、現在のところ、まだわずかにしか知り得ていない。このことを原点として始めたい。</p> <p>(b)達成目標：判例などのプリントを配布する。当該判決やテーマの法的問題点を指摘し、法的分析力・思考力・判断力を習得して、応用力をつけてゆきたい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：現代法学入門〔第3版補訂版〕伊藤正己・加藤一郎編 有斐閣

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(a)授業内容

第1～2回 法学方法論（法学序説）

第3～4回 法とは何か（宗教・倫理等、他の分野と比較し、考察する）

第5～9回 憲法（人権・統治）

第10回 中間試験

第11～14回 民法（財産編）

第15回 期末試験

(b)授業の進め方

プリントを多数配布する。理論的な側面と事例研究の双方を理解して行きたい。コンパクトな六法を毎回持参されたい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

中間試験と期末試験の総合評価をおこなう。

中間試験 50%

期末試験 50%

【オフィスアワー：授業相談】

授業終了後に応じる。

【学生へのメッセージ】

適正・公平を旨とするリーガル・マインドを身につけたい。

【その他】